

## 第20回千早赤阪村庁舎建設検討委員会会議録（要旨）

日 時	令和3年1月28日(木) 午前9時～午前10時15分
場 所	村立保健センター3階集団指導室
出席者	仲野委員長、阪辻副委員長、豊田委員、西野委員、服部委員、矢倉委員、城戸委員、伏井委員、柴田委員、久保委員、柳川委員、関口委員、山形委員
欠席者	楠本委員
事務局	南本村長、西口参与 総務課：日谷課長 人事財政課：中野課長 地域戦略室：赤阪室長、藤戸参事、安井参事、木ノ本係長、瓦谷主査
傍聴者	2名
会議概要	開会 1. 議事 (1) 新庁舎建設計画について (2) その他 閉会

### 【開会】

#### 【村長あいさつ】

(南本村長)

みなさま、改めまして、おはようございます。

本日はお忙しい中、第20回千早赤阪村庁舎建設検討委員会にご出席をいただき、誠にありがとうございます。

また、委員の皆様方には、日頃より村政運営にご高配を賜っておりますこと心より厚くお礼申し上げます。

本日は緊急事態宣言が発出の中、本来ですとできる限り接触の機会を減らさないといけない時期ではございますが、防災拠点としての役割を担う新庁舎の案件ということで、ご参集をいただきました。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

感染対策をきちんと行い可能な限り簡素にかつ、深い議論をいただけるよう努めてまいりますので、皆様のご協力お願い致します。

さて当初のスケジュールでは、令和4年度4月から新庁舎の建設が始められ来る3月には庁舎として一定の形が出来上がり、7月には新庁舎において業務開始となる予定でした。しかし新型コロナウイルス感染症による事業活動自粛の影響に加え、村長選もあり、私の方から前回の検討委員会において再検討をご提案させていただきました。その結果、12月の議会で庁舎の建設費の予算を令和2年度予算から減額を致しました。

私の立場上、村長として、持続可能な行政運営を進めていくことが不可欠ですが、

それにはどうしても財源の確保が必要であり、それと同時に最優先すべきは第一に村民のみなさまの命と暮らし、そしてすべての村内で働く人々また職員の命、暮らしそれらを守ること、危機管理が重要です。

庁舎は危機管理を行う上での最も重要な拠点となることから、早急に進めていきたいと考えております。

本日の開催にあたり、まず、私の方からお伝えしたいことは、昨年9月28日に開催いたしました当検討委員会において新庁舎建設を進めていくうえでの懸念事項3点をお伝えいたしました。

まず1点目として、現行の計画では密になってしまうこと。2点目は、本年度末3月に失効の過疎法が果たして本村に対して引き続き指定をされるかどうか。

そして3点目として今後の新型コロナウイルス感染症対策に対する費用負担やその他連休中の金剛山ロープウェイの今後の在り方など村政を進めていくうえでの新庁舎建設に対する私の思いを皆様方に申し上げました。

昨年の当委員会終了後、直ちにこの3点の懸念事項に対し、各担当課での調査をするよう指示をし、その結果報告によって懸念事項の現状の把握、今後の見通しから新庁舎を進めても問題はないとの判断を致しました。そして職員に対し私の考え方思いを伝え、従来案に加えてコロナ渦及びコロナ後の新しい生活様式を踏まえた新庁舎になるよう新しい案を策定しその計画案を本日委員の皆さまにお伝えいたし、ご検討いただくためお集りいただいた次第です。

本日お示し致します案は、委員の皆さまもご承知のとおり以前からの「事業費は10億円以内」であることと、「新庁舎建設は現庁舎敷地内」であることを原則とし、さらに今回のこの2点に加え、新しい生活様式、特にソーシャルディスタンスに考慮し、役場を訪れる村民のみなさまはもちろんのこと役場で働く職員の安全に配慮した計画案をご提案させていただきます。

この新庁舎建設に対しましては、まず、さまざまなお立場の方々に構成されている皆さままで、この庁舎建設検討委員会において、委員の皆さまからご意見、議論を賜り、その後、村議会議員の方々に構成されています、庁舎建設特別委員会で同様に議論いただき、新庁舎建設に向け事業を進めていく運びとなっております。

今後自然災害の発生やコロナの行方も不透明であり庁舎建設を進めていく上での、変更案や諸問題等が生じることがあるやもしれません。そのようなときには、今までもそうですが、これからも当委員会の皆様方にすぐさま情報を提供させていただくとともにご意見等も頂いてまいる所存でございますので、何とぞご理解ご協力のほどお願い申し上げます。

最後に、長らく話をさせていただきましたが、私の一番の願いは、村民のみなさまに安心と安全をお届けできる新庁舎が一日でも早く実現できるよう、委員の皆さまとの共同作業により作ってまいりたいと考えております。委員の皆さま方には、大変ご苦勞をおかけいたし恐縮ではございますが、お時間の許される限り、様々な立場からの忌憚のないご意見、議論を賜りますようお願い申し上げます。皆様のお力添えをお願い申し上げます。冒頭のあいさつとさせていただきます。

ありがとうございます。

#### 【出席者紹介】

席順にご紹介させていただきます。最初に、委員長の仲野委員です、副委員長の阪辻委

員です、関口委員です、豊田委員です、西野委員です、服部委員です、伏井委員です、矢倉委員です、柳川委員です、山形委員です、柴田委員です、久保委員です、城戸委員です。なお本日、楠本委員におかれましては、都合によりご欠席となっております事をご報告いたします。

#### 【事務局紹介】

村長の南本です、参与の西口です。総務課長の日谷です。人事財政課長の中野です。地域戦略室の赤阪です。藤戸です。安井です。瓦谷です。そして私、木ノ本です。

#### 【配布資料確認】

- 1、次第
- 2、第20回庁舎建設検討委員会資料
- 3、報酬の生じる委員宛ての支払い案内

#### 【会議成立の報告】

千早赤阪村庁舎建設検討委員会条例第6条第2項におきまして、委員会は委員の半数以上のご出席で成立することとなっております。

本日まで出席の方は、13名でございます。委員14名の半数以上ご出席いただいておりますので、委員会が成立しておりますことをご報告いたします。

#### 【公開非公開の決定】

(事務局)

では、議事に入ります前に本日の会議の公開・非公開について決定したいと思います。委員長、いかがでしょうか？

(仲野委員長)

みなさん、本日は公開でよろしいですか？

(複数委員、異議無し)

では、本日は公開をお願いします。

(事務局)

では、本日の庁舎建設検討委員会は、公開とさせていただきます。

それでは、議事の方に進めてまいりたいと思います。進行につきましては、仲野委員長に、お願いいたします。

#### 【委員長あいさつ】

(仲野委員長)

それでは、私の方から進行の方をさせていただきます。

改めまして、みなさんおはようございます。

ただいま、事務局から説明ありました通り本日の会議の進行を仰せつかりました。先ほど村長からもお話がございましたが、大阪府におきまして新型コロナウイルス緊急事態宣言が発令されておることでございます。

この状況下でございますので、本日の会議につきましては、進行をスムーズに進めていきますよう、委員の皆さまご協力をひとつよろしくお願い申し上げます。

なお、議事進行につきましては、着座のまま進めさせていただきますのでよろしくお願い致します。

それでは、着座させていただきます。

第19回で検討していただきました、また行政からご提案されました事柄につきまして、村長の挨拶の中にもあったところでございます。

それでは、事務局の方から説明をしていただきたいと思います。ひとつよろしく願いいたします。

## 【事務局説明】

### <議事説明>

#### ・基本スタンスについて

いつ起きてもおかしくない地震などの災害を考慮し、早急に計画を進める。

新型コロナウイルスや今後起こり得る感染症等にも対応できるよう改善が必要。

#### ・新庁舎に求められる条件について

一人当たりの執務スペースを増加させる。

増加が予想されるトータル事業費を10億円以内にする。

建設場所は現庁舎敷地内を前提条件に検討したい。

#### ・検討案について

現庁舎の耐震性のないRC部分を潰して、既存の鉄骨部分を生かしながらほぼ最初のプランと同じような大きさの新庁舎を建て、10億円以内で進める提案。

#### ・土砂災害警戒区域について

敷地内にも待ち受け擁壁を付けて安全対策を図る。

#### ・メリットについて

執務スペース及び議場等の面積増加、役場外観の正面性の向上

防災倉庫移設により防災機能向上、進入路の安全性向上、擁壁整備費の削減

近隣への工事の影響を低減

#### ・今後の予定について

令和3年1月28日 庁舎建設検討委員会

2月5日 庁舎建設特別委員会（予定）

2～3月 予算確保、実施設計契約

令和3年度以降 工事着手予定

実施設計完了後6月か7月の検討委員会や特別委員会の後に工事を実施予定。

1期工事完了後、撤去し、2期工事予定。

1期工事出来上がった時点で、検討委員会特別委員会で見てもらって、撤去後2期工事を行い最終皆さんにもう一度見ていただく、令和4年度の3月ごろ日途で考えている。

議事については委員から次の通り意見等がありました。

<質疑>

(阪辻委員)

今説明を受けた内容以外に村議会と村長との間で、新庁舎に対して何か別の話があったのか、また、村議会で、新庁舎を今の場所から変える話が村長から出ていたか。

議員から村長に新庁舎の分散をとどまるように説得されたことはあったのか。

(地域戦略室長)

村長と議会で直接は無いと思う。今年度庁舎の建設着工できる見込みがないことから工事費の予算等を減額し、その後議員協議会で、現在検討案の策定を進めていることは担当から説明した。

前回の検討委員会の時に村長が検討を進めるなかで、分散もと言うような言葉はあったと思うが、12月の議会で関口議員からのご質問で、建設場所を現庁舎で考えてると答弁した。

議員協議会で現在の経過を説明したときには、検討案のひとつとして分散案も示した。その時今回の案が一番いいと言った意見はあった。

(阪辻委員)

議員の一部の方々のチラシの中に分散する話があったので、念のためにお聞きした。

(仲野委員長)

私の方からもお願いします。出来ましたら、本日事務局から提案されました案件につきまして皆様方のご意見をご拝聴したいと考えておりますのでその点ご協力よろしくをお願いします。それ以外何かご質問等あれば。

(城戸委員)

本日の資料でトータル事業費が10億円になっているが、この資料の表現では増加される額が10億円にならないか。

(地域戦略室長)

トータル10億以内です。

(西野委員)

部屋が広がると健康福祉課は一緒に入るのか。また、大きな災害になれば社協が全面的に手続きなどをするので、役場に近いほうが良い、どのように考えているのか。

(地域戦略室長)

健康福祉課は保健センターの管理も兼ねているので、この保健センターのままと考えている。また、以前から社協を新庁舎にと言う話はあったが、今回密を避けるため既存の庁舎を利用する。大きくなるから他の部署を入れるとまた密になる。

今の時点では新庁舎に社会福祉協議会が入ることは想定していない。

(西野委員)

社協に来るのは高齢者や肉体的に弱者が多いので、福祉課に近いところがベター。これは社協のためでなく、住民のためと考えている。

(仲野委員長)

西野委員の発言は、要望と言う形で今後検討していただくと言うことで収めていただきたい。

(服部委員)

新庁舎には現庁舎の部署が入るだけで、教育委員会などは入らないのか。また、反対に、出るところはあるのか。コロナの影響でスペース確保のため、新しいところへ分散させることは無いのか。

(地域戦略室長)

基本的に新庁舎には、これまでも検討委員会で議論いただいた部署が入る。教育委員会は健康福祉課同様、それぞれの施設の管理も兼ねているので、そのままの場所に残ることで進めている。

部署を他の場所に移動するのは、例えばくすのきホールなら、くすのきホールの会議室なりを事務室に改修しなくてはならない。くすのきホールは社会教育施設なので、その機能をどこに設けるのかの議論も出てくる、予算的にもトータル10億ではおさまらないので現実的ではないと考え、現庁舎に入っている部署をそのまま新庁舎に考えている。

(服部委員)

設計変更の費用は、大体1,000万位掛かると予想されるがトータルの10億でおさまると理解していいか。

(地域戦略室長)

例えば、現計画で想定していた進入路は擁壁工事が減額になるなど、当然増減が出る。精査しながら、10億以内でおさめると言う事で進める。

(豊田委員)

この提案では、ポジショニングをどこまで考えているのか。

(地域戦略室長)

基本的にはこれまでの第18回最終で示した部署は基本的にはそのまま、書庫や更衣室を既存の施設に入れて、それぞれのスペースを少しずつ広げ、これまでの検討委員会で議論した内容を踏襲して行く予定。

実施設計の変更と具体的な案が出来た時点で、示したい。

(矢倉委員)

工期が約1年8カ月の予定となっているが、現場事務所や工事ヤードとして、元プレハブ横の駐車場を利用すると、来庁の車が道路の下に止める事になり、お年寄りや子供が不便である。元あったプレハブ側にも駐車スペースを確保して欲しい。

(藤戸参事)

元プレハブ庁舎のところに現場事務所や仮設のヤードを設ける計画になっている。ご意見を踏まえて、仮設計画をたてる。

(伏井委員)

既存部分の耐震強度はどの程度か。耐震補強等はされるのか。既存部分にサーバー室を入れて、災害時に使えなくなる可能性がある。どうお考えか。

(瓦谷主査)

既存部分は、鉄骨造約500㎡ほどで、残すには多少改修工事も必要になる。設計の中で耐震性も含め、検討はしたい。鉄骨造部分はある程度耐震性はあると考えてる。サーバー室は、新庁舎の中にもあり、本来の更新時期に合わせて、移転する。

(柴田委員)

7月に変更設計が完了とあるが、7月の特別委員会後すぐ翌月から工事開始出来るのか。また、4月に1期工事後、引越の間、住民さんが住民票を取りに行きたい、場合に、住民さんに不便が生じることは無いのか。

(藤戸参事)

資料が月単位の記載になっているため、変更設計完了後すぐ工事となっていますが、特別委員会で、承認されたのち入札し、工事施工するよう、状況に応じて、きっちり段階を踏んで進めていく。

引越は、土日や連休で行い、平日の月から金曜日に庁舎が閉鎖するという事が無いよう計画する。

(久保委員)

既存の今の役場を最大限活用する形になってると思うが、1期2期工事があり、その間に解体が入るため、工期が長くなり、当然時間もお金もかかる。

既存部分は、鉄骨の部分の耐震改修をしないとイケない。既存部分の改修は新築とあまり費用が変わらない。500㎡増えるとコロナ対策の密が解消されるという効果は、はっきり出てくるが、トータル約2,000㎡になる、10億の予算では不安だ。

施工面積が増えるため、建物の質は落ちる。機能を守るために、材料や省エネ関係で質が落ちる可能性もある。

(瓦谷主査)

工期が長くなることによる経費、1期と2期の間に仮設の耐震壁や屋外階段を作る費用、既存庁舎の改修費と設計の見直しの費用などが増額になる。進入路の擁壁、屋上の室外機を隠すためのルーバーの一部、新庁舎の書架スペース、システムの移設費の一部がなくなるため、減額されると予想される。

さらに、今までご議論いただいたデザインを含めて、出来るだけ変えないように品質を下げないように計画していく。

(久保委員)

既存部分500㎡の改修で、大体1億5,000万円から約2億円かかる、全体で8億円から9億円近くかかる。公共の施設としては、最低の㎡単価になることが考えられる。

お金をかければいいものではないが、10億以内が前提でそれが我々の総意でもある。お金のかけ方のバランスをきちっとマネージメントできる設計者、建築家などの助言者や地域戦略室で、知恵をしっかりと出して慎重にやらないといけない。とにかく予算的に厳しいものがより厳しくなったと全員で承知しておくのが寛容と思う。

(仲野委員長)

ご意見としてお聞きしておいて、久保先生よろしいですね。ご意見はいありがとうございます。ありがとうございます。

(柳川委員)

スケジュールが非常にタイトである。

空気の流れ、空調関係の設計方針はどうなっているか。

設計者は、空調に関しては精通しているため、ノウハウを生かして、新たな新型コロナウイルスに対抗することが出来るような空調環境を実現していただきたい。

また、擁壁に関しては、防御策が必要なぐらい、今の丘地は倒壊が懸念されるので、念には念を入れてお願いしたい。

(瓦谷主査)

空調換気については、建築基準法施行令に基づき、換気量算定し、十分行けるのかの見直しと、空気の流れを良くするために、できるだけ室内間仕切りを付けない、大きな書棚を設けない、腰までの書棚にするなどを考えていきたい。

また、現在も待ち受け擁壁という形で施工はされていますが、再度敷地内の中に予備的に擁壁を作って支える形で計画していきたい。

(仲野委員長)

それ以外何かございますか

特になければ本日の会議この程度で閉めさせていただいてよろしいですか。

(意見なし)

ありがとうございます。

本日行政側から提示していただいたこの案を進めていただくと言う事でご了解いただいたものとさせていただきます。

また、各委員から頂戴しましたご意見等につきましては、行政側で十分検討していただき、さらに、この委員会にはお二人の建築の専門の委員がおいでになります、ご相談に乗っていただきながら計画を進めていただきます、またこの修正案につきまし

では、大幅な変更以外につきましては、当委員会の委員長である私と、副委員長に一任していただけるということによろいですか。

(複数委員、はい)

ありがとうございます。

それでは本日の議事につきましては以上となります。委員の皆さま方には、慎重な審議並びに議事運営にご協力いただき誠にありがとうございました。  
それでは、事務局の方に返還させていただきますありがとうございます。

#### 【閉会あいさつ】

(阪辻副委員長)

本日は、お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございました。  
新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の中、こうしてお集まりいただけたのは、一刻も早く、一日も早く村民の防災拠点となる新庁舎建設を進めていただきたい、という思いでご出席されたと思います。

そうした我々委員の思いをくんでいただき、行政側のみなさんには、本日、議論した内容や検討委員から頂戴したご意見をもとに、計画案を作り上げ、今後開催される庁舎特別委員会に臨んでいただき、一日も早く庁舎建設を進めていただきたいと思います。

本日はどうもありがとうございました。

(事務局)

ありがとうございました。

次回開催日程につきましては、議題の整理が整い次第、改めて日程調整させていただきますのでよろしく願いいたします。

これで本日の会議は終了します。